

東海道新幹線のさらなる輸送サービスの充実について

～2020年春、「のぞみ12本ダイヤ」を実現し利便性を大きく向上させます～

当社は、会社発足以降、東海道新幹線の輸送サービスを充実させるべく、一貫して輸送力の増強とネット予約・チケットレス乗車サービスの展開に取り組んできました（別紙1）。1992年に「のぞみ」による最高速度270km/hの営業運転を開始し、2003年には品川駅の開業に併せて全列車の最高速度を270km/hに統一することで「のぞみ」中心のダイヤにシフトしました。その後も様々な施策により「のぞみ」の運転本数を着実に増やし、現在は、1時間あたり片道最大10本の「のぞみ」を運転する「のぞみ10本ダイヤ」により、多くのお客様のニーズにお応えしています。

この度、2020年春に予定しているN700Aタイプへの車種統一に伴う全列車の最高速度285km/h化に合わせ、各種設備の改良に取り組むことでダイヤを刷新して「のぞみ12本ダイヤ」を実現し、東海道新幹線の利便性を大きく向上させます。

1. 「のぞみ12本ダイヤ」の特徴（別紙2）

（1）「のぞみ」の運転本数の増加

「のぞみ」の1時間あたり片道最大運転本数を2本増やし、12本にします。

◇1時間あたり運転本数（東京駅発車場面）

	現行ダイヤ	新ダイヤ
のぞみ	10本	12本
ひかり	2本	2本
こだま	3本	3本

（2）「のぞみ」の所要時間の短縮

12本全ての「のぞみ」が東京駅～新大阪駅間を2時間30分以内で結びます。

◇「のぞみ」の所要時間（東京駅～新大阪駅間）

	現行ダイヤ	新ダイヤ
2時間30分以内	3本	12本
2時間33分～37分	7本	0本

2. 「のぞみ12本ダイヤ」でますます便利に

ご利用の多い時間帯に「のぞみ」を増発します。お客様がご都合の良い時間帯をネット予約・チケットレス乗車サービスの「EX予約」「スマートEX」でご予約頂き、スムーズにご乗車頂くことで、目的地までのトータルのご旅行時間の短縮を実現します。

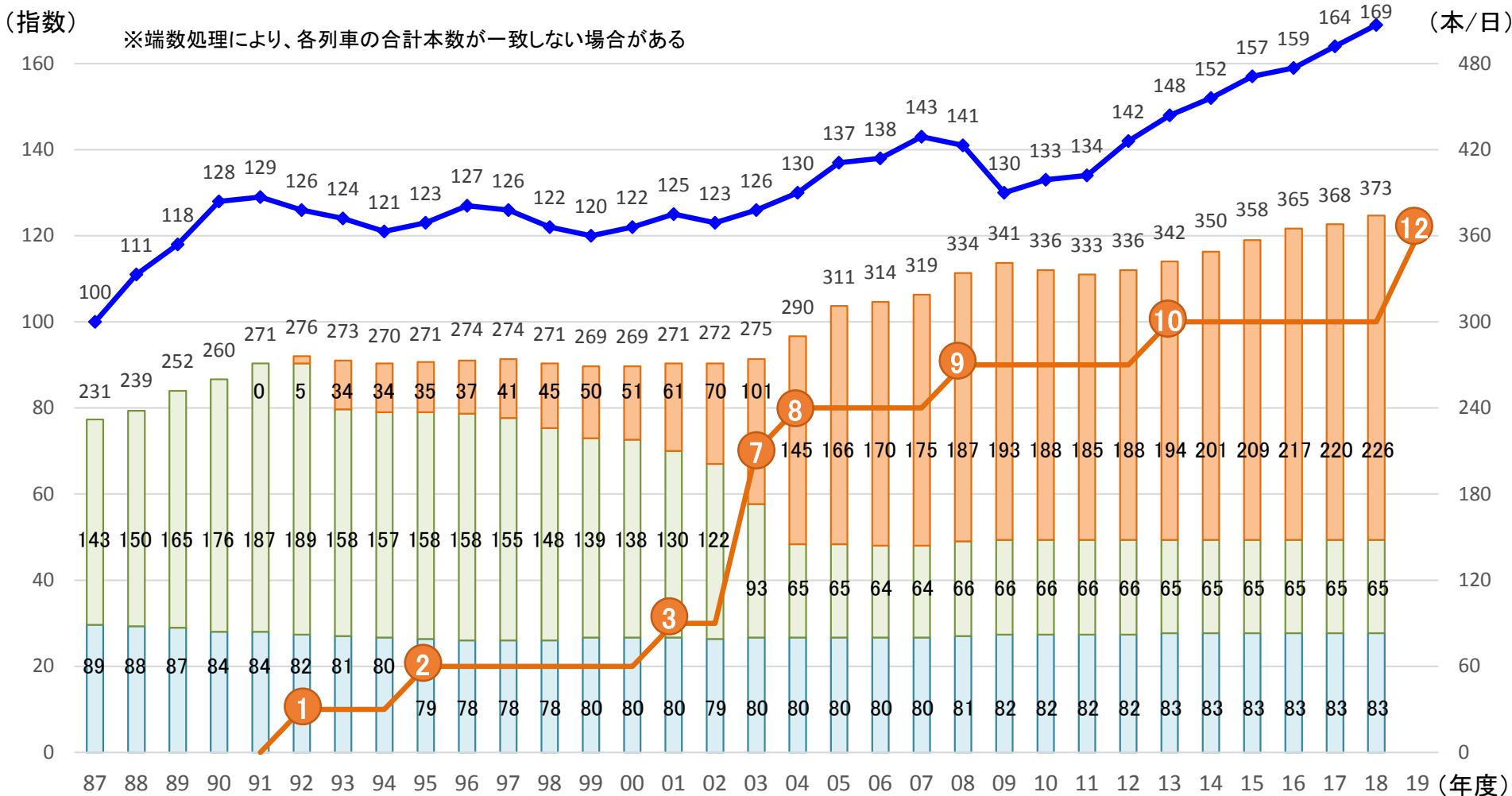
3. 開始時期（予定）

2020年春

※ダイヤの詳細については改めてお知らせします。

東海道新幹線の運転本数と輸送量の推移

① 1時間あたり「のぞみ」片道最大運転本数
 ◆ 東海道新幹線輸送量(87年度を100とする)
■ 1日あたり「のぞみ」運転本数
 ■ 1日あたり「ひかり」運転本数
 ■ 1日あたり「こだま」運転本数



300系「のぞみ」の営業運転開始

↑
エクスプレス予約開始

↑
東海道新幹線 品川駅開業
全列車270km/h運転

↑
新大阪駅
改良工事完了

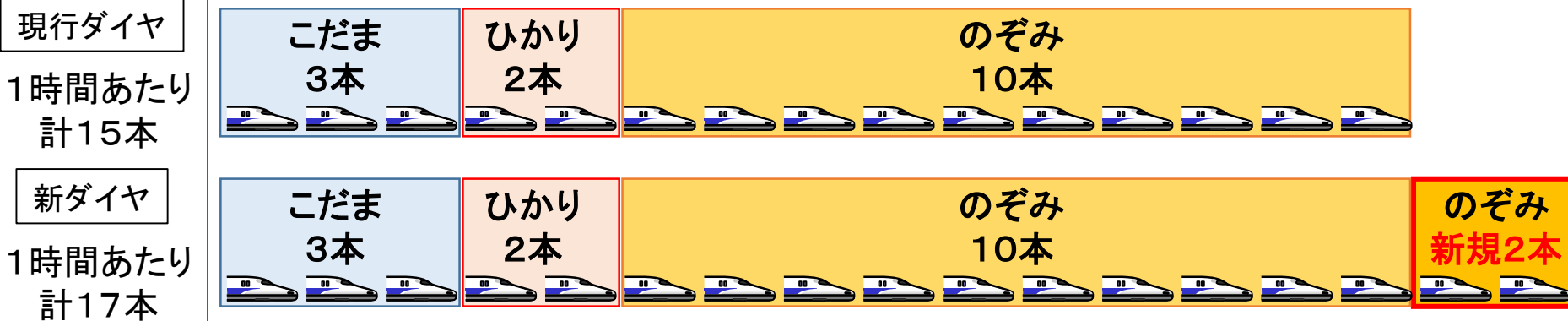
↑
スマートEX開始

↑
N700Aタイプに統一
全列車285km/h運転

「のぞみ12本ダイヤ」の特徴

◆「のぞみ」の運転本数の増加

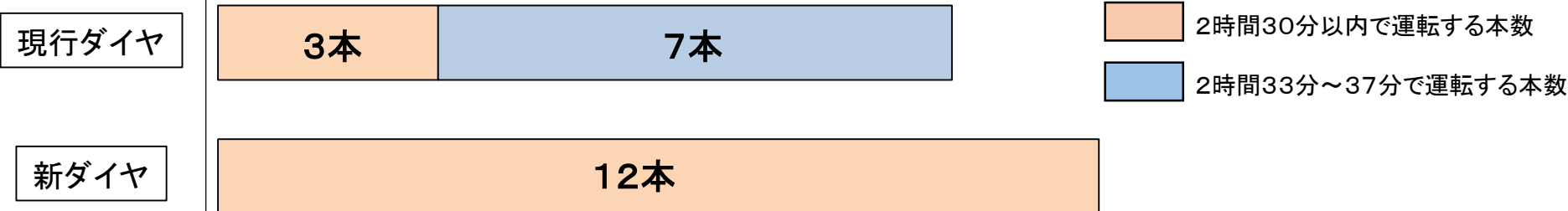
東京駅発車場面での1時間あたりの運転本数



お客様のご利用が多い時間帯に「のぞみ」を増発
最大1時間に12本＝平均5分に1本

◆「のぞみ」の所要時間の短縮

東京駅～新大阪駅間の所要時間の内訳



東京駅～新大阪駅間の所要時間を最大7分短縮し、
全ての「のぞみ」が2時間30分以内で運転